





- 弊社は、白羽の矢を立てるべきは「外国人留学生」だと考えます。
- 日本語が使える、日本文化に造詣がある「優秀な留学生」が日本には
- たくさんいます。そして、彼らは日本で働きたいと思っています。
- 
- 多様な異文化視点を持つ globalforce(高度外国人財)を活用する
- ことで、「新たな価値の創造」につなげることができます。
- ”globalforce”は企業にとって貴重な人財です。
- 
- しかし、多様性を受け入れることはチャレンジングなことです。
- 一筋縄ではいかない。障害物競走のように、いくつもハードルを超
- えて行かなければなりません。当研究所は、採用から活用に至るまで
- 企業のチャレンジをお手伝い致します。

---

「」「」異文化コミュニケーション研究所(R) (iCCC)

「」「」 <http://www.globalforce.link>

「」「」 横浜市神奈川区青木町 3-15 SSビル 201 号室

「」 Tel:045-307-8248(代) FAX:045-461-1577

「」 代表取締役社長 所長 島崎ふみひこ

---

(当研究所は、株式会社フィギュアネットの事業部です。)